

アカスジカスミカメに対する一斉防除が有効となる防除時期

【1 成果概要】

薬剤防除を検討している地域の穂揃期の幅が7日以内の場合、半数の圃場が穂揃期に達した時期の7日後に一斉防除を実施することにより、斑点米被害を抑えることが可能となります。ただし、出穂した水田雑草（ノビエ、シズイ、ホタルイ類）が確認される圃場では、1回の防除では斑点米発生を抑えるのは困難なので、除草を徹底しましょう。（図2）

表1. 一斉防除地域の穂揃時期と薬剤防除概要

地域・年次	水沢 H19	水沢 H20	江刺 H20
一斉防除面積	約20ha	約20ha	約20ha
品種	ひとめぼれ	ひとめぼれ	ひとめぼれ
調査圃場数	10	10	11
穂揃期	8/3-10	8/2-9	8/6-10
穂揃期の幅(日)	7	7	4
半数の圃場の穂揃期到達日	8/6	8/7	8/8
薬剤散布日	8/14	8/14	8/16
使用薬剤名	スタークル粉剤DL	スタークル粉剤DL	スタークル粉剤DL

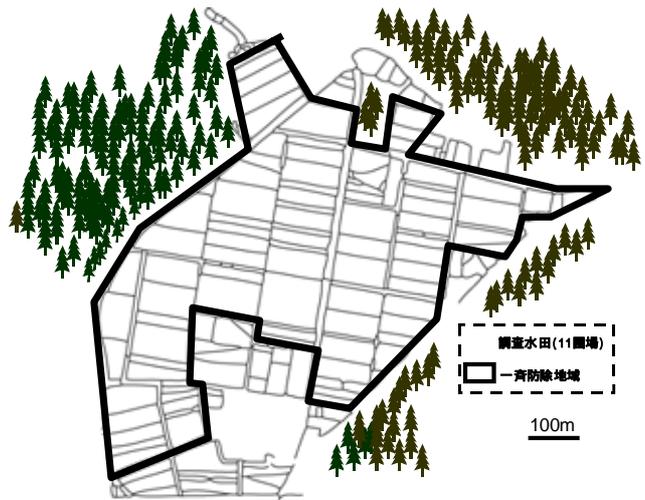
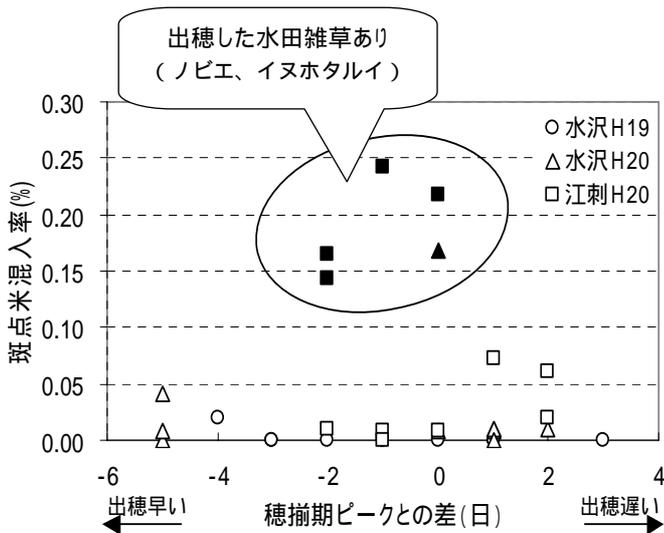


図1 一斉防除地域の概要(江刺H20)

図2 穂揃時期と斑点米混入率との関係
斑点米調査はすくい取り調査地点(畦畔より10m 入る)で200穂採集し、乾燥・調整後、精玄米(1.9mm以上)を調査。

【2 留意事項】

- 1 成果は広域的な規模(表1、図1: 約20ha)における試験結果に基づいています。また、栽培品種は「ひとめぼれ」であり、水稻出穂10~15日前に畦畔雑草の一斉草刈が行われています。
- 2 防除薬剤は粉剤、乳剤、水溶剤、フロアブル剤、液剤を対象としています。
- 3 今回の試験では割れ初めの発生は少なかったが、側部加害は割れ初めで生じることから、割れ初めの発生が懸念される圃場7月下旬に低温に遭遇した場合や、割れ初めの発生しやすい品種では1回目防除の7日後に追加防除を実施します。

【3 効果】

斑点米による落等防止と防除作業の効率化につながります。

【4 適応対象】

アカスジカスミカメを優占種とする水田地域